

ステークホルダーからのご意見

2005年度環境・社会報告書および東京エレクトロングループの事業内容について、遠峰徹様にご意見をいただきました。



セイコーエプソン株式会社
半導体事業部
IC・CS品質保証部(環境担当)
エナジーセービング専任課長

遠峰 徹 氏

(1) 東京エレクトロン環境・社会報告書の感想

全体が冗長になることなく簡潔にまとまっており、活動の具体性と行動力を感じられること、また技術的な内容がわからない顧客に対してもイメージを持てる内容になっている事に好感が持てました。特に装置の省エネルギーに対して高い意識が感じられ、ユーザーからの要望に現場も一体となって取り組む姿勢を強く感じる事ができ、安全と健康に対する配慮を含め、なすべきことの明確さが伝わってくる内容になっていました。また、トップの方が具体的な内容にも踏み込んでご意見を述べられており、会社としての取り組みの集中力を感じた次第です。

(2) 東京エレクトロンEHS活動に関する感想

顧客への姿勢や環境に加え、従業員の方々の安全と健康に対する意識の強さが特徴的と感じました。顧客の安全を大切にする事は自らの安全を大切にする事から始まるといった意識が背景から読み取れ、信頼感を深める事ができました。

半導体工場の環境影響を考える時、半導体工程ほど多種の技術が集積されている工程はほかにないことに思い至ります。一台一台の製造装置がファシリティとの関係において多くのINPUTとOUTPUTで結ばれています。多くの種類の装置を手がけるなかで、問題を直視し設計段階から取り組むうとされる姿勢に心強さを感じています。

(3) セイコーエプソンから見た東京エレクトロンの印象

プロセス技術を含めた新たな装置開発を推進され、常に新たなご提案をいただいている事に日頃感謝しています。一方、新しい装置のみならず既に工場稼働している装置に対しても、技術開発の成果を展開し改善の提案をいただけるものと期待しています。また、環境・社会報告書に業界標準を重視している姿勢にも現れていますが、SEMIをはじめ半導体業界活動にも大変積極的であることに業界をリードする存在である事を感じています。

(4) 東京エレクトロンへの要望・期待など

環境・エネルギー面で省エネルギーについて大変敏感な状況を迎えつつあると感じています。従来の省エネルギーについて、各方面で個別の成果は出てきていますが、目的を半導体工場の省エネルギーの実現に置いたとき、今までの活動成果をインテグレートしてゆく視点が重要と考えています。一方、環境活動の成果は個別企業の活動で一人勝ちできるものではないのも実情です。したがって、半導体業界全体の方向付けとして、環境施策のコスト効率をあげていく事が重要と考えています。個別の環境関連技術開発およびその普及と同時に、業界を方向付けていく事にも今まで以上のリーダーシップ発揮をお願いしたいと思います。

■ Tokyo Electron U.S. Holdings, Inc.の 社会貢献

「産業リーダーシップ賞」を受賞

TEL USHDは、2005年オースチン美化協会(Keep Austin Beautiful: KAB)より「産業リーダーシップ賞(Industry Leadership Award)」を受賞しました。この賞は、環境美化、汚染低減、および排出削減の分野でKABの活動に大きく貢献した市民団体または提携組織に与えられるものです。TEL USHDでの植樹運動、自然保護活動、美化活動や代替エネルギーの積極的使用などの活動が評価されたものです。



「産業リーダーシップ賞」受賞風景

「日本と自然」展示会を支援

TEL USHDでは、昨年オースチン子供博物館の展示会「日本と自然 - 四季の心(Japan and Nature - Spirits of the Seasons)」のスポンサーを務めました。この展示会は、子どもたちが特色ある日本の4地域、福岡・琵琶湖・京都・札幌を探訪し、一カ所で一つの季節を体験できる



「京都」の展示風景

もので、参加者とのコミュニケーションを通じて、日本のユニークな地理的特徴や景観を紹介しました。この展示会の入場者数は20万人を超えました。

オースチン市長Will Wynn氏からのメッセージ

TEL USHDはオースチン市にとって手本とするべき企業市民です。TEL USHDは、この数年間地域の公共福祉に関するプログラムとリサイクル活動へ積極的に参加され、KABより表彰されました。TEL USHDの献身的な支援とリーダーシップによって、私たちの地域における生活の質は確実に向上しています。

2006年5月



オースチン市長
ウィル・ウイン
(Will Wynn) 氏